



こんにちは ひぐち英明です

345号 2018年11月18日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：

左京民商総会であいさつ 消費税増税は許せない！



左京民主商工会の定期総会で、みづなが府議・加藤市議・とがし前市議と一緒にあいさつ。9月議会に14の個人・団体から出された、消費税10%への増税中止を求める請願に、共産党以外の全議員が反対したことを、怒りを込めて報告しました。

左京民主商工会の定期総会で、みづなが府議・加藤市議・とがし前市議と一緒にあいさつ。9月議会に14の個人・団体から出された、消費税10%への増税中止を求める請願に、共産党以外の全議員が反対したことを、怒りを込めて報告しました。



019年4月施行)の問題点について、安倍政権が農業に続いて、林業を「成長産業」と位置づけ、大企業と海外資本の儲けの道具にしようとしていること、さらに、水産業もこの方向が示されていること、ここに問題の本質があるこ

京都府有害鳥獣問題研究会など11の団体が主催した「森林経営管理法を考える学習・交流会」に参加しました。講師は愛媛大学名

誉教授の泉英二先生。泉先生は、今年5月に国会で可決された「森林経営管理法」(2019年4月施行)の問題点について、安倍政権が農業に続いて、林業を「成長産業」と位置づけ、大企業と海外資本の儲けの道具にしようとしていること、さらに、水産業もこの方向が示されていること、ここに問題の本質があるこ

「森林林経営管理法」学習会 山林の保全対策へ予算措置を

とを指摘。この方向が進められたら、森林が破壊しつくされかねない、厳しく批判されました。

■ 欧州では林業者に所得補償
また、ヨーロッパなどでは、森林の保護(山林の保全)は、産業という切り口ではなく、環境という切り口でとらえ、そこに住み林業を営んでいる方たちは環境の重要な守り手として考えて、所得補償が当たり前に行われていることなどが紹介さ

まちづくりと防災を考える左京のつどい
様々な住民運動が交流される

左京自治体要求連絡会が主催して、「まちづくりと防災を考える」学習交流のつどい」が行われました。鱈坂学先生(同志社大学名誉教授)が「住民協同の地域づくり」と題して基調講演。



自治会や町内会をはじめ様々な住民組織が発揮するためにも、行政がしっかりと支援す

ることが必要であることが指摘されました。その後、加藤あい市議とみづなが敦彦府議による京都府・市の災害対応の現状の報告に続いて、左京各地でまちづくり関連の住民運動に取り組んでいるみなさんが、次々と報告あつという間の2時間でした。

写真トピックス

左京健康友の会まつり→

11・3左京みんなのデモ↓



11・3憲法集会in円山→



倒木被害の事前 防止への予算措 置を

この間の豪雨や台風の際の倒木による被害や土砂災害を、事前に防止する対策が求めら

れています。その際には、行政が思い切った予算をつけて、山林所有者への支援、林業者への支援を行う必要があると実感する学習会でした。

ひぐち英明 ホッと・コム

ある夜のこと。次女(中学2年)が学校に持って行った水筒が台所にぼんと置かれていました。妻が「洗っておいてよ」と言いつつ「水筒は出しておいたら洗ってくれるって、前に言ってたやん」と次女。都合のいいことはよく覚えています。「それなら、その洗濯物をたたくでや」と妻。すると次女は「ええ、めんどくさい」の一言。まあ、素直な感想ではあるのでしようが、その一言ですまじいとするのでは、いくらなんでも都合がよすぎるんじゃないか。

さて、「財政が厳しい」といふ言葉を市長がよく使います。「子どもの医療費を中学卒業まで無料化を」といって「財政が厳しい」、「敬老乗車証を現在の制度で継続を」といって「財政が厳しい」といって冷たい拒否します。

JUNが、総事業費が2兆1千億円とされる北陸新幹線の延伸工事になると、京都市の負担が何百億になるのか、何千億になるのか「分からないけれど、とにかく進めること」のこと。いったい「財政が厳しい」との話はどこに行ってしまったのでしょうか。あまりに都合がよすぎます。

大型公共事業は何があっても推進、その一方で市民生活は切り捨て、という政治を、何としても転換させましょ。